

# 平成21年度 環境と共生する都市づくりフォーラム ～環境共生都市を実現する「技術」と「ライフスタイル」～



平成22年2月3日 ツインシティ研究パートナー連絡会、神奈川県



# ツインシティの整備

## ■ 環境と共生する都市圏の形成

県央・湘南都市圏では、豊かな自然を生かした、環境と共生する都市圏の形成と、その核となるモデル都市ツインシティの整備などを進めています。

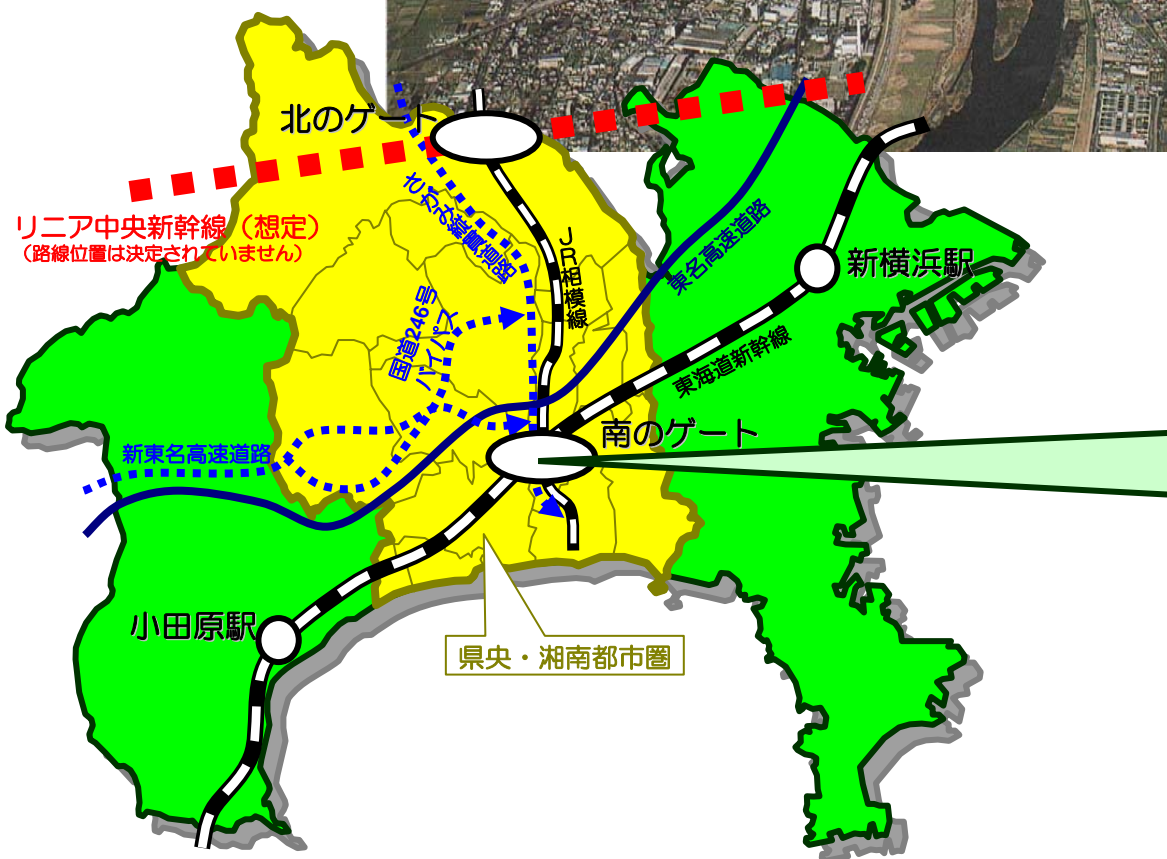
この都市圏において、個性豊かな都市づくりが進められるとともに、都市間相互で連携し、質の高い生活や新たな産業を創造するネットワーク型都市圏が形成されることをめざしています。

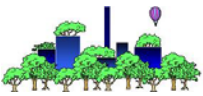
## ■ 環境共生モデル都市「ツインシティ」

ツインシティは、新幹線新駅を誘致する寒川町倉見地区と相模川対岸の平塚市大神地区を新たな道路橋でつなぎ、2つの地区を一体的に整備し、全国との交流連携の窓口となるゲートを形成するとともに、環境と共生するモデル都市をめざしています。

## ■ 環境と共生する都市づくり

環境共生のモデル都市となるために、ツインシティの整備にあたっては、都市づくりに自然を生かすことや、環境負荷を低減する取組みの導入、環境にやさしい交通計画、地域アメニティの創出に配慮して都市整備を進めます。





## ツインシティ整備に係る現在までの取り組み

### ツインシティ研究パートナー連絡会 (H13～)

ツインシティの都市づくりに、民間企業や各種団体が持つ新しい発想や、環境共生・交通連携を実現する技術・情報を活かしていくことを目的として運営。選考した8つの企業・団体グループとH13・14年度の2カ年で研究を行い、H15年度からは研究成果の具体化に向けてパートナー連絡会を運営している。

①環境共生ライセンス制度と水利用・新エネルギーの活用

②環境調和型エネルギー都市

③「みどり」の複合的効果とグリーンインフラ

④環境共生型交通システムの構築

⑤テレワークを活かしたライフスタイルとモデル施設

⑥福祉・健康都市づくり

⑦農家地権者参画型の新しい都市づくり

⑧公・民パートナーシップによる区画整理

### ツインシティ整備計画 (H14年4月)

平成12年3月に策定された「ツインシティ基本計画」を受けて、地元説明や県民参加の手続きを経ながら平成14年4月に開催された期成同盟会総会にて決定した。

#### 序 ツインシティ整備の意義

第1章 ツインシティ整備にあたっての基本となる考え方

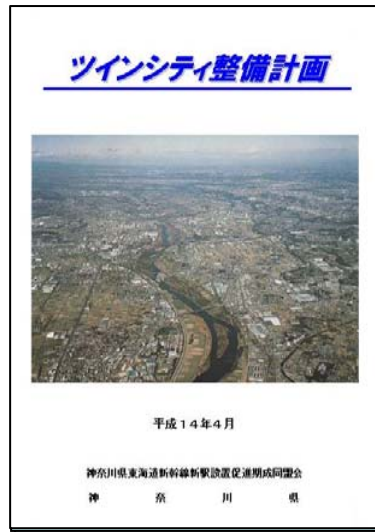
第2章 ツインシティの都市づくりのシナリオ

第3章 ツインシティへの交通アクセスの骨格

第4章 ツインシティの都市づくりの骨格

第5章 ツインシティの都市づくりの進め方

第6章 ツインシティの整備に向けて



### 企業・大学懇談会 (H16～)

平成16年12月に県央・湘南都市圏に存する企業・団体・大学により設立された。ツインシティの都市づくりに対し、各々の立場から、自由な意見、提案等を頂き、平成20年11月には最終提言書が松沢知事宛に提出された。具体的には以下の四つのテーマについて全部で48の提言がなされている。

1. 「交通アクセス」に係る提言

2. 「環境との共生」に係る提言

3. 「新たな産業の創出・育成」に係る提言

4. 「新しい生活スタイル」に係る提言







相模川と東海道新幹線 : 航空写真





大神地区現況



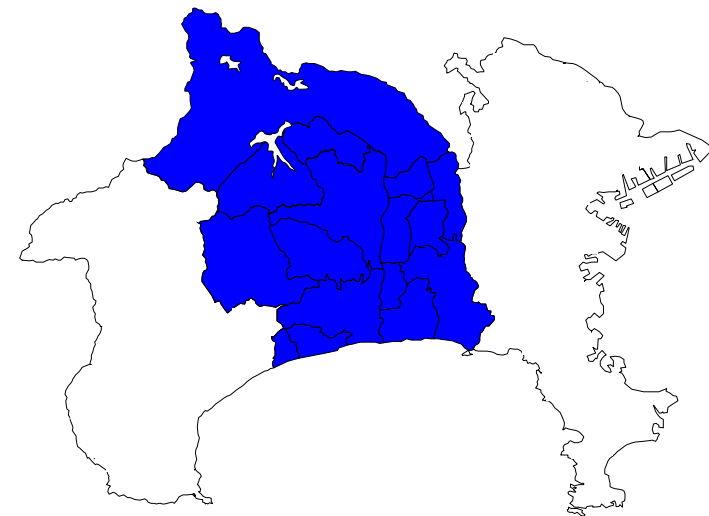
倉見地区現況



# “環境共生技術アドバイザー”

- 県央・湘南都市圏において、県では、「県央・湘南都市圏環境共生モデル都市づくり推進要綱」に基づいて、環境と共生する都市づくりを進めています。
- そこで、県には、「自然の魅力を生かしたまちづくり」や「環境負荷を低減するまちづくり」などを行うにあたり、どのような環境共生の取組みを行うかなどについてアドバイスをするため、環境共生の取組みの専門家を派遣する“環境共生アドバイザー”制度があります。
- 派遣の対象となる方
  - ・ 推進要綱の手続きを行う事業者
  - ・ 推進要綱の環境共生の取組みを実施しようとするNPO等の団体 など
- アドバイスの分野
  - ・ 環境負荷を低減する土地利用
  - ・ 景観に配慮したまちづくり など

[県央・湘南都市圏]



【担当】 県土整備総務課 環境共生都市整備担当